

第2回 日本心血管インターベンション治療学会賞 結果について

CVIT 編集委員会

【選考経過】

「日本心血管インターベンション学会賞」は、優れた研究論文および症例報告を顕彰し、より多くの優秀論文の投稿を期待することを目的として、2010年に発足した。

第2回学会賞は、2011年1月から2011年11月までに発行された和文誌(Vol.3.No.1～Vol.3 No.3)および英文誌(Vol.26 No.1～Vol.26.No.3)の研究論文24編、Case Report28編、コメディカル論文2編を対象とした。

第1回選考は編集委員を無作為にA,B,C,D,Eの5グループに分け、AおよびBグループは原著論文、CおよびDグループは症例報告、Eグループはコメディカル論文を審査した。評価は5段階評価とした。2012年5月10日に結果を締め切り、編集部にて集計後、各グループの上位3論文を絞った。

最終選考はA,Bが研究論文6編、C,DがCase report6編、Eがコメディカル論文3編について、以下の5項目に考慮し順位付けをおこなった。(①論文の独創性、②論文の構成、③ほかの研究者への啓発、④今後の発展性、⑤社会への貢献度)
2011年6月末日を締め切りとして選考が行われた。

選考の結果は、以下の通り。

研究論文 優秀賞 3編

※今年度は最優秀賞該当者が受賞辞退のため、次点繰り上げで優秀賞を3編とした。

河村 洋太 先生 (相模原協同病院)

[Impact of chronic kidney disease on clinical and angiographic results following implantation of sirolimus-eluting coronary stents \(Cardiovasc Interv and Ther , 2011 ,26:18-25\)](#)

一色 高明 先生 (帝京大学医学部)

[Initial clinical experience with distal embolic protection using "Filterap", a novel filter device with a self-expandable spiral basket in patients underfoing percutaneous coronary intervention \(Cardiovasc Interv and Ther , 2011 , 26:12-17\)](#)

藤井 敏晴 先生 (東海大学医学部)

[Potential difficulty for acute categorization of drug-eluting stent thrombosis without coronary angiography: unignorable infarction occurred in target vessels \(Cardiovasc Interv and Ther , 2011 , 26:109-116\)](#)

症例報告 優秀賞 2 編

東森 亮博 先生 (岸和田徳洲会病院)

[Diagnosing dialysis access steal syndorome using skin perfusion pressure with an occlusion balloon \(Cardiovasc Interv and Ther , 2011 , 26:172-175\)](#)

小宮山 浩大 先生 (都立広尾病院)

[The impact of Rho-kinase inhibitor, “Fasudil”, intracoronary bolus administration to improve refractory coronary vasospasm\(Cardiovasc Interv and Ther , 2011 , 26:281-285\)](#)

コメディカル論文 優秀賞 1 編

選考の結果、今年度は該当論文なし。

CVIT2012 期間中、7 月 13 日 (金) に行われた会員総会にて学会賞授与式をおこない、賞状および賞金を授与いたしました。

第 3 回学会賞選考対象論文は 2012 年 1 月から 2012 年 12 月までに発行された学会誌へ掲載された論文全てとなります。会員諸氏からの積極的な投稿をお待ちいたしております。

以上